

令和4年度三田市強靱化計画進捗状況表

施策分野	通番	強靱化を推進する主な事業		事業進捗状況					R4年度の取組内容と検証	今後の対策方針	評価値 (%)	評価	担当課	
		事業(個所)名	事業概要(計画目標)	R2 (基準値)	R3	R4	R5	R6						
市域の保全	治水対策	1	大根川	堆積土砂掘削 900m <sup>3</sup> 堆積土砂浚渫77計画に基づき実施	61%	100%	100%			計画的に浚渫工事を実施した。 浚渫完了。		100%	A	道路河川課
					61%	94%	100%							
		2	山田川	堆積土砂掘削 200m <sup>3</sup> 堆積土砂浚渫計画に基づき実施	0%	25%	100%			計画的に浚渫工事を実施した。 浚渫完了。		100%	A	道路河川課
	0%				50%	100%								
	3	栗田川	堆積土砂掘削 400m <sup>3</sup> 堆積土砂浚渫計画に基づき実施	0%	0%	0%	25%	100%	R4年度は事業未着手	R5年度より事業着手予定	—	—	道路河川課	
				0%	0%	0% (未着手)								
4	波田	ため池廃止	56%	67%	78%	89%	100%	完了		100%	A	農村再生課		
			56%	100%										
5	布木	ため池廃止	0%	25%	50%	75%	100%	R4年度、工事着手済み	R5年度、工事完了予定	46%	C	農村再生課		
			0%	11%	23%									
6	災害地対策・土砂	住宅土砂災害対策支援事業	移転・改修への補助 R6までに1件以上移転	0件	0件	0件			相談・申請は無し	今後も補助事業を継続する。	—	—	危機管理課	
住宅・都市	住宅・建築物の耐震化	7	三田市簡易耐震診断推進事業	住宅の耐震診断 住宅の耐震化率 92.5%(H25)→97.0%(R7)	47%	60%	74%	87%	100%	・無料簡易耐震診断件数:62件(54戸) ・戸別ポスティング:約2,100件(うち新規ポスティング:約450件) ・R3年度以前の簡易耐震診断受診者へのDM(約200件) ・建築無料相談会の実施:15名参加 啓発活動の強化により、当初予算時の申請件数を上回る結果となった。	引き続き対象者への直接啓発活動を実施すると共に、新規エリアのポスティングを図る。	67%	B	審査指導課
					47%	58%	65%							
	8	三田市我が家の耐震改修促進事業	住宅の耐震改修工事等補助 住宅の耐震化率 92.5%(H25)→97.0%(R7)	47%	60%	74%	87%	100%	・計画策定費補助件数:7件 ・耐震改修工事:6件(一般:4件、簡易:2件) 『住宅の簡易耐震診断』と一体的な啓発活動を実施し、計画策定にあつて、来年度工事実施予定者が3件あり、予算時の想定件数を上回る結果となった。工事にあつても、概ね良好な件数となった。	過去の簡易耐震診断受診者へ直接啓発等を実施する。	67%	B	審査指導課	
				47%	58%	65%								
9	住宅ストック利活用推進事業	住宅ストックの流通及び利活用促進 空き家バンクを利用した成約数 R6までに42件	50%	63%	75%	88%	100%	令和4年度の成約件数は1件。 令和4年度の空き家バンク登録が少なくなったため、成約数も計画通りに伸びなかった。	空き家バンク登録数を増やすため、空き家バンク制度の更なる周知を図っていく。	66%	B	都市政策課		
			50%	63%	67%									
10	都市防災	三田駅前Cブロック市街地再開発事業	第一種市街地再開発事業 1.9ha R6で進捗率65%達成	0.2%	16%	33%	49%	65%	事業施行者である三田駅前Cブロック地区市街地再開発組合において、関係権利者との合意形成を図りながら、今年度の権利変換計画認可に向けた手続きを鋭意進めている。	引き続き組合による関係権利者等との合意形成等を支援し、円滑な事業行程の進捗を図る。	21%	C	都市整備課	

令和4年度三田市強靱化計画進捗状況表

施策分野	通番	強靱化を推進する主な事業		事業進捗状況					R4年度の実施内容と検証	今後の対策方針	評価値 (%)	評価	担当課	
		事業(箇所)名	事業概要(計画目標)	R2 (基準値)	R3	R4	R5	R6						
対策	11	地籍調査	調査面積 293haのうち R6までの目標調査面積は240ha (目標調査面積: 認証請求面積)	27%	34%	46%	58%	65%	横山町①(13ha)の認証請求手続きを進めた。R3年度から継続している三田町①に時間を要したことから当初予定をしていた三田町②等、後年手続きとする。	西山二丁目他、三田町②、相生町①②③、南が丘二丁目と認証請求手続きを進める。	37%	C	用地対策課	
	12	宅地策防災対	大規模盛土造成地	大規模盛土造成地の公表 (H27公表済み)	100%	100%								
ライフライン・廃棄物	水道施設の耐震化等	13	三田市水道事業管路耐震	配水管耐震化 管継手補強金具設置計画ではR8年度まで完了予定	43%	53%	62%	72%	81%	現在の老朽管更新計画がR4で完了することから、R5は全管路を対象とし、耐震化も勘案した管路更新計画を新たに策定する。このためR4は緊急性の高い箇所のみの実行を行った。	新たに策定する管路更新計画により重要施設への耐震化も含めて順次更新及び耐震化を実施する。	21%	C	上水道課
		14	三田市水道事業老朽管更新	配水管更新 R4年度完了予定	90%	99%	100%							
	下水道施設の機能保全	15	公共下水道	浸水対策(天神地区)	70%	100%				完了		100%	A	下水道課
					70%	100%								
		16	公共下水道	下水道管路耐震補強等(伏越室全22基) R6までに耐震化実施数2基	0%	0%	0%	75%	100%	福島汚水幹線伏越室2基の詳細設計を実施した。	R5年度から工事に着手する。	-	-	下水道課
					0%	0%	0%							
		17	農業集落排水・コミュニティプラント	浄化センター耐水化 R6年までに3箇所実施	0%	0%	30%	60%	100%	母子浄化センターの工事を実施した。	高平上および本庄浄化センターにおいて工事を推進する。	100%	A	下水道課
					0%	0%	30%							
	18	公共下水道・農業集落排水・コミュニティプラント	マンホールポンプ非常用電源確保(全72施設) 非常用電源接続可能マンホール数16施設	8%	31%	54%	77%	100%	12月に6施設の工事を完了すると共に、4施設の工事に着手した。	引き継ぎ工事を推進する。	91%	B	下水道課	
				8%	13%	50%								
19	公共下水道・農業集落排水・コミュニティプラント	非常時対応訓練下水道BCP見直し等	実施	実施	実施			3月に停電時対応訓練の実施を予定している。	今後も年1回の非常時対応訓練を実施することにより、対応力向上並びに下水道BCPの見直しを図る。	-	A	下水道課		

令和4年度三田市強靱化計画進捗状況表

施策分野	通番	強靱化を推進する主な事業		事業進捗状況					R4年度の取組内容と検証	今後の対策方針	評価値 (%)	評価	担当課			
		事業(個所)名	事業概要(計画目標)	R2 (基準値)	R3	R4	R5	R6								
保健・医療	20	市民病院における備蓄	<p>医薬品・医療ガス・食料・飲料水・個人防護具等 【医薬品】 災害時超急性期における必須医薬品リスト(日本災害医学会)参考</p> <p>【医療ガス】 ①医療用液化酸素(配管にて院内に供給)→満タン時4,500kg(約1か月分) ②酸素ボンベ ※①のバックアップ用→7,000L×20本(約1日分) ③酸素ボンベ ※院内各所に配置→500L×110本 ※通常対応分</p> <p>【食料・飲料水】 ①患者用 3食×3日分 ②職員用 3食×3日分</p> <p>【個人防護具】 3か月分 ①サージカルマスク 45,000枚 ②N95マスク 3,600枚 ③プラスチックガウン 2,500枚 ④プラスチック手袋 (S) 265,500枚 (M)174,500枚 ⑤プラスチックエプロン 20,250枚 ⑥フェイスシールド 1,400枚 ⑦ソフトキャップ 9,600枚</p>	<p>【医薬品】 7日間分あり</p> <p>【医療ガス】 7日間分あり</p> <p>【食料・飲料水】 職員用は未備蓄</p> <p>【個人防護具】 手袋10%、N95マスク30%、キャップ70% ※その他は備蓄済</p>	<p>【医薬品】 7日間分あり</p> <p>【医療ガス】 7日間分あり</p> <p>【食料・飲料水】 備蓄済</p> <p>【個人防護具】 手袋27%、キャップ70% ※その他は備蓄済</p>	<p>【医薬品】 7日間分あり</p> <p>【医療ガス】 7日間分あり</p> <p>【食料・飲料水】 備蓄済</p> <p>【個人防護具】 手袋27%、キャップ70% ※その他は備蓄済</p>				<p>期限切れ等の備品について、入れ替えを行いつつ、在庫の確保に努めた。</p>	<p>未完了の備蓄品についても計画的に進めていく。</p>	75%	B	市民病院		
				21	指導救命士の養成	<p>指導救命士の計画的な養成 7名の指導救命士を養成、配置し救急隊のレベルアップを図る。</p>	25%	44%	63%	81%	100%	<p>「三田市消防本部指導救命士運用要綱」に基づき1名の指導救命士を養成し合計5名。職員への教育・指導や医療機関との調整等を行っている。</p>	<p>新規養成のみならず現任者の育成を継続し、教育・指導の質の向上を図る。</p>	121%	A	消防本部
							25%	57%	71%							
情報通信	情報通信手段の確保	22	<p>防災行政無線の適切な運用及び管理 親局・拡声子局51基、半固定式無線機29局の適正管理</p>	<p>保守点検の実施</p>	<p>保守点検の実施</p>	<p>保守点検の実施</p>			<p>防災行政無線の保守点検を実施 バッテリー交換を実施</p>	<p>引き続き適切な運用を継続する。</p>	—	A	危機管理課			
		23	<p>衛星電話の確保運用</p>	<p>適正管理の実施</p>	<p>適正管理の実施</p>	<p>適正管理の実施</p>			<p>衛生電話の運用実績なし</p>	<p>今後も衛生電話の運用を継続。</p>	—	A	危機管理課			
		24	<p>さんだ防災防犯メールの運用</p>	<p>メール登録者に防災防犯情報を発信 R6年度メール登録者18,000人</p>	96%	97%	98%	99%	100%	<p>緊急情報やお知らせ情報等を配信した。メールの登録勧奨と併せて、スマートフォンのアプリ(ひょうご防災ネット、兵庫県が配信)登録も実施している。 R4年度 LINE(6,968)+メール(16,432)=23,400</p>	<p>今後も引き続き継続的に登録勧奨を行っていく。</p>	200%	A	危機管理課		
産業	農業等	25	<p>有害鳥獣防除対策事業</p>	<p>防除柵設置</p>	5,758m	3,764m	3,605m			<p>野生鳥獣による農作物被害を防ぐため、有害鳥獣捕獲、防除柵設置等の地域による獣害対策の支援を行い、3月31日完了予定である。</p>	<p>令和5年度も引き続き、防除柵設置等の支援に努める。</p>	—	A	農村再生課		

令和4年度三田市強靱化計画進捗状況表

施策分野	通番	強靱化を推進する主な事業		事業進捗状況					R4年度の取組内容と検証	今後の対策方針	評価値 (%)	評価	担当課	
		事業(個所)名	事業概要(計画目標)	R2 (基準値)	R3	R4	R5	R6						
交通・物流	基幹道路の整備	26	市道下相野広野線	現道拡幅・バイパス L=1000m	56%	76%	78%	89%	100%	計画的に工事施行を行った。	引き続き関係機関と協議を行い、事業進捗に努める。	159%	A	道路河川課
					56%	76%	91%							
		27	市道三輪香下線	現道拡幅 L=300m	3%	27%	52%	76%	100%	砥石橋架け替え工事が完了予定	引き続き関係機関と協議を行い、事業進捗に努める。	108%	A	道路河川課
					3%	19%	56%							
		28	市道清楽寺尼子線	現道拡幅・バイパス L=1400m	88%	91%	94%	97%	100%	計画的に工事施行を行った。	引き続き関係機関と協議を行い、事業進捗に努める。	50%	C	道路河川課
					88%	91%	91%							
	防災道路の整備・強化	29	市道三輪山田線	現道拡幅 L=50m	0%	25%	50%	75%	100%	R4年度は事業未着手	引き続き関係機関と協議を行い、事業進捗に努める。	—	—	道路河川課
					0%	0%	0%							
		30	市道新三田駅前東線	駅前広場整備 A=4000㎡	89%	100%				完了		100%	A	都市整備課
					89%	100%								
	橋梁の耐震化	31	市道北摂中央3号線 [えるむ橋]	耐震対策 L=95m (R8完成予定)	7%	23%	38%	54%	69%	計画的に耐震化工事の施行を行った。	今後も引き続き計画的な発注に努める。	100%	A	道路河川課
					7%	30%	38%							
		32	市道三輪川除武庫川線 [御殿橋]	耐震対策 L=63m	0%	17%	33%	50%	67%	R4年度は事業未着手	R5以降は耐震化工事を施行するため、関係機関を協議を行い、計画的な工事発注に努める。	85%	B	道路河川課
					0%	28%	28%							
法面防災	33	市道香下山田線	落石対策等 L=190mのバイパス工事	14%	36%	57%	79%	100%	R4年度は、実施設計業務を行った。	R5以降は対策工事を施行するため、関係機関を協議を行い、計画的な工事発注に努める。	12%	C	道路河川課	
				14%	19%	19%								
無電柱化の推	34	三田市無電柱化推進計画の策定	計画策定 緊急輸送道路等の無電柱化計画	0%	25%	50%	75%	100%	道路法第37条に基づく占用制限を行った。	専用更新時に、地中化を進めるよう啓発を行う。	120%	A	道路河川課	
				0%	0%	60%								

令和4年度三田市強靱化計画進捗状況表

施策分野	通番	強靱化を推進する主な事業		事業進捗状況					R4年度の取組内容と検証	今後の対策方針	評価値 (%)	評価	担当課	
		事業(個所)名	事業概要(計画目標)	R2 (基準値)	R3	R4	R5	R6						
行政機能	老朽公共施設対策の	35	公共施設の保全	公共施設(28件)の計画的な保全	0%	28%	42%	53%	100%	実施時期の見直し等により、R4年度に予定していた件数に至ってはいない。	令和5年度においても個別施設計画に則った工事を予定しており、施設の全に向けて取り組んでいく。	100%	A	公共施設マネジメント推進課
				R2年策定の「三田市公共施設個別施設計画」に則り、計画的な保全を進める。	0%	28%	42%							
	消防対応力の強化	36	救急・消防車両等の更新	緊急消防援助隊登録車両等の更新 6年度までに7台の車両を更新する	29%	47%	65%	82%	100%	令和4年度 救急車1台、ポンプ車1台を更新済み。	車両更新計画に基づき令和6年度まで残り2台を計画的に更新を進めるが、社会情勢不安によるシャシ供給の遅延等も予想されるため、柔軟に対応する。	117%	A	消防本部
					29%	43%	71%							
		37	消防緊急情報システムの更新	消防指令システム(119番通報)更新 令和8年4月1日の新システム稼働に向けて仮契約を結んだ指令システムメーカーと詳細を調整する	3%	19%	20%	30%	50%	R3年度までは、三田市単独での消防指令システム(119番通報)更新事業を進めていたが、R4年度から新たに神戸市との指令事務共同運用について検討を開始。R4年12月に指令事務共同に関する協定を締結。(R9.4運用開始予定)  R4年度作業は、更新するシステム要件を抽出し概算予算計上(年度末予定)	神戸市と調整しながら事業を進める。	100%	A	消防本部
					3%	10%	20%							
		38	消防通信施設の更新	消防指令設備の更新 R8年度更新予定	0%	3%	5%	8%	10%	設備の長寿命化を達成するために消防救急無線システムの全面更新時期をR8年度であったものをR12年度に変更	消防救急無線システム更新について、現状では三田市単独を計画しているが、近隣市との共同運用についても調査を進める。	100%	A	消防本部
					0%	3%	5%							
		39	消防団車両の更新	団車両の計画的な更新	0台	0台	0台			R2～R6年度の更新予定なし		—	—	消防本部
		40	消防団器具庫の更新・改修	老朽化施設の計画的な更新・改修 3施設の更新(第5分団、第3分団、第1分団)	0%	25%	50%	75%	100%	第3分団器具庫の更新を今年度完了予定(R5年3月運用開始予定)	更新計画に基づき計画的に予算要求を実施する。 令和6年度に第1分団器具庫建設予定	132%	A	消防本部
0%	33%				66%									
行政機能	41	ハザードマップさんの更新・配布	全市版・地区版の適正な更新及び配布	土砂災害特別警戒区域追記更新・配布	全市版の増刷	更新、配布			全市版、地区版の更新・印刷・配布	ハザード情報等の見直しによる適正な更新	90%	B	危機管理課	
	42	Web版ハザードマップの運用	Web版の適切な更新	地図の更新・保守点検	保守点検の実施	保守点検の実施			保守点検の実施	今後も保守点検、必要に応じて更新を実施	100%	A	危機管理課	
	43	地域版防災マップの策定支援	地域での作成支援 R6年までに45地区策定	77%	83%	89%	94%	100%	R4年度は香下区、砥石川区で作成中。	今後も実施の周知啓発を行い、地域で取り組みを進めていく。	80%	B	危機管理課	
77%				82%	87%									

令和4年度三田市強靱化計画進捗状況表

施策分野	通番	強靱化を推進する主な事業		事業進捗状況					R4年度の取組内容と検証	今後の対策方針	評価値 (%)	評価	担当課
		事業(個所)名	事業概要(計画目標)	R2 (基準値)	R3	R4	R5	R6					
災害情報の伝達	44	防災重点ため池マップの公表	適切に更新 R6年度進捗50%達成	10%	20%	30%	40%	50%	年度更新	毎年度、必要に応じて更新予定	100%	A	農村再生課
				10%	20%	30%							
	45	避難情報伝達手法の多重化	効果的な情報伝達手段の構築 R6年度末までに防災行政、SNS配信、メール、自動音声の配信	防災行政無線・メール	LINEでの情報発信を開始	一斉送信システムを導入			複数メディア一斉送信システムを導入し、避難情報等の情報発信の迅速化を図れた。	ホームページの充実化を図る。	100%	A	危機管理課
	46	災害情報の多言語化	災害情報伝達の多言語化を促進 ハザードマップさんの多言語化 R6までに4言語対応	英語・中国語	英語・中国語	英語・中国語			新たな言語表記の追加なし	必要に応じ、言語を選定、マップの表記化を検討する。	50%	C	危機管理課
47	災害情報システム運用	避難情報の発令等適切な運用	避難行動要支援者マップ作成・保守点検	避難行動要支援者マップ作成・保守点検	避難行動要支援者マップ作成・保守点検			避難情報の発令実績なし	複数メディア一斉送信システムを活用した迅速な発令。	100%	A	危機管理課	
避難所機能の強化	48	電源対策の充実	蓄電池・非常用発電機 の確保等 R6年までに180基の発電機備蓄	発電機106基(ガソリン式38基、カセットボンベ式68基)	購入なし	購入なし			各トヨタ販売店等6社と災害時の避難所等における外部給電可能な車両からの電力供給の協力に関する協定を締結	R5:2台(カセット式発電機)購入予定	—	A	危機管理課
	49	避難所Wi-Fiの整備	Wi-Fi環境の整備 指定避難所37ヶ所のWi-Fi環境整備	22%	42%	61%	81%	100%	今年度整備実績なし。	更新計画に基づき計画的に予算要求を実施する。	0%	D	危機管理課
				22%	22%	22%							
	50	防災備蓄の充実	食料・飲料・簡易ベッド・間仕切り他	間仕切り200個 簡易ベッド85個 その他食料更新	食料等の更新	食料等の更新			ローリングストックを行った。	長期間保存(7年保存)可能な非常用食料の計画的な購入にシフトしながらローリングストックを行う。	100%	A	危機管理課
	51	マンホールトイレの整備	マンホールトイレ新設 R6までに指定避難所におけるマンホールトイレ整備10箇所	20%	40%	60%	80%	100%	城山体育館、ウッディタウン市民センター、フラワータウン市民センターの整備工事を進めている。	高平ふるさと交流センター、ふれあいと創造の里および有馬富士共生センターにおいて工事を推進する。	100%	A	下水道課
20%				40%	60%								
52	心のケア	被災者等の心のケア	0人(災害事例なし)	0人(災害事例なし)	0人(災害事例なし)			災害事例なし	今後も災害時の被災者ケアの取り組みを続ける。	—	—	危機管理課	

令和4年度三田市強靱化計画進捗状況表

施策分野	通番	強靱化を推進する主な事業		事業進捗状況					R4年度の取組内容と検証	今後の対策方針	評価値 (%)	評価	担当課
		事業(個所)名	事業概要(計画目標)	R2 (基準値)	R3	R4	R5	R6					
災害時要援護者への支援	53	避難行動要支援者名簿の作成及び地域等との共有	避難行動要支援者名簿の作成、地域との共有 全自治会との名簿共有(179区・自治会)	98%	100%				完了		100%	A	危機管理課
				98%	100%								
	54	避難行動要支援者個別支援計画の策定支援	避難行動要支援者名簿に記載された要支援者ごとの支援計画を策定 R6年度までに50地区で作成	11地区	20地区	30地区	40地区	50地区	R4年度は、昨年度に引き続き、個別支援計画を作成した。	今後も引き続き、個別支援計画の作成を進めていく。	—	A	危機管理課
55	マイ避難プランの策定支援	マイ避難カードの普及促進 (R6年度までに10地区で策定)	3地区	4地区	6地区	8地区	10地区	地域版防災マップ作成と同時にマイ避難カードの作成の取り組みを実施(香下区・砥石川区)	引き続きマイ避難カードの作成の取り組みを進める。	—	A	危機管理課	
			3地区	5地区	2地区								
地域防災力の強化	防災訓練	56	市総合防災訓練	避難所となる各小学校を開催会場とし実施	本庄小学校	ゆりのき台小学校	弥生小学校		弥生小学校で実施	引き続き小学校で実施予定	100%	A	危機管理課
		57	地域防災訓練	訓練支援(講師派遣・経費の補助他) 地域防災訓練の実施	訓練実施8地区	訓練実施(補助金支給4地区)	訓練実施(補助金支給8地区)		・ゆりのき台自治会(地域防災訓練支援事業) ・あかしあ自治会(地域防災訓練支援事業) ・東野上区自主防災会 ・波豆川防災会 ・けやき台自主防災会 ・つつじが丘自主防災部 ・南区防災会 ・サンディ・パークス管理組合自主防災会	防災訓練を通じて必要な見直しを行いながら、地域の実態に応じた自主防災組織体制の構築と、災害に対する備えや近隣住民が協力し(共助)、防災活動に取組むことで防災意識の向上を図っていく。	—	A	危機管理課
		58	外国人防災訓練	国際交流協会と連携した外国人を対象とした防災訓練の実施	動画配信	実施	実施		「ハザードマップさんだ」を活用し、外国人参加者の居住する地域について、災害危険地域(洪水浸水想定区域・土砂災害警戒区域)上にあるのかどうかを確認する。また、災害時における避難のタイミングや避難方法、避難所の位置を確認するとともに、「ひようご防災ネット」をスマートフォンにアプリをダウンロードしてもらうことで、外国語表記で災害情報を収集できるようになる。	災害時に外国人が円滑に災害情報を収集し、安全に避難行動できるように、今後も防災訓練を継続していく。	—	A	危機管理課
59	自主防災組織の支援	新規設立・訓練支援 自主防災組織結成率90%(全世帯数に対する結成世帯数)	79%	82%	85%	88%	90%	新たな結成は2組織 ・アルファステイツ三田駅前II自主防災会 ・大音所防災会	引き続き各地区に結成の呼びかけを継続する。	33%	C	危機管理課	
			79%	79%	81%								
60	さんだ防災リーダーの会との連携	活動支援 さんだ防災リーダーの会と連携し地域等の防災活動を支援推進 R6年度までに地域版防災マップ作成連携10地区(2地区×5年間)	20%	40%	60%	80%	100%	地域版防災マップ作成2地区(香下区・砥石川区)	引き続き、地域に呼びかけを行い、積極的に作成に向けた取り組みを進める。	100%	A	危機管理課	
			20%	40%	60%								



令和4年度三田市強靱化計画進捗状況表

施策分野	通番	強靱化を推進する主な事業		事業進捗状況					R4年度の取組内容と検証	今後の対策方針	評価値 (%)	評価	担当課	
		事業(個所)名	事業概要(計画目標)	R2 (基準値)	R3	R4	R5	R6						
災害ボランティア活動の整備	61	社会福祉協議会との連携	災害時における社会福祉協議会と連携(災害ボランティア受入等)	0件 (対象案件なし)	0件 (対象案件なし)	0件 (対象案件なし)			災害実績なしのためボランティア受け入れも実績なし。	受援計画を策定し、ボランティア受入れ等の明確化を進める。	—	—	危機管理課	
	62	関西広域連合等災害復旧支援派遣	応急的に必要な救助を行うため職員を派遣	0件 (対象案件なし)	0件 (対象案件なし)	0件 (対象案件なし)					—	—	人事課	
人材育成	63	学生災害ボランティア活動支援	市内に学舎を有する、大学、高等学校、専門学校が実施する被災地支援ボランティア活動の経費の一部を補助	0件 (対象案件なし)	0件 (対象案件なし)	0件 (対象案件なし)			災害実績なしのためボランティア受け入れも実績なし。	受援計画を策定し、ボランティア受入れ等の明確化を進める。	—	—	危機管理課	
	64	市道橋梁	橋梁修繕 三田市橋梁修繕計画に基づきR6年度までに136橋の橋梁修繕を行う	56%	67%	78%	89%	100%	計画的に修繕工事の施行を行った。	今後も引き続き修繕計画に基づき事業実施に努める。	68%	B	道路河川課	
社会基盤施設の老朽化対策	65	市道	舗装修繕 三田市舗装修繕計画に基づきR6年度までにL=2400mの舗装修繕を行う	20%	40%	60%	80%	100%	計画的に修繕工事の施行を行った。	今後も引き続き修繕計画に基づき事業実施に努める。	118%	A	道路河川課	
				20%	41%	67%								
	66	新三田駅前駐車場	大規模修繕 R4照明・空調改修予定	未着手	未着手	着手完了			照明・空調等大規模修繕を行った。		—	—	道路河川課	
	67	都市公園	公園施設の更新等 目標値=30百万円×5年=150百万円投資	16%	40%	60%	80%	100%				91%	B	公園みどり課
				16%	36%	56%								
68	公共下水道・農業集落排水・コミュニティプラント	下水道施設改築更新 等 農業集落排水施設の老朽化対策実施箇所数：R6年までに3箇所	0%	0%	30%	60%	100%	母子浄化センターの工事を進めている。	本庄浄化センターにおいて工事を推進する。		90%	B	下水道課	
			0%	0%	27%									
69	浄化槽	浄化槽台帳整備 合併浄化槽設置促進 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換：R6までに5基(年1基×5年)	20%	40%	60%	80%	100%	1件の転換があった。	引き続き促進する。		50%	C	下水道課	



令和4年度三田市強靱化計画進捗状況表

施策分野	通番	強靱化を推進する主な事業		事業進捗状況					R4年度の取組内容と検証	今後の対策方針	評価値 (%)	評価	担当課	
		事業(個所)名	事業概要(計画目標)	R2 (基準値)	R3	R4	R5	R6						
広域連携・官民連携	広域連携	70	阪神7市1町合同防災訓練	合同防災訓練	参加	訓練開催なし	訓練開催なし			阪神間の訓練の開催なし	阪神間における合同防災訓練開催時には積極的に参加し、連携を図る。	—	—	危機管理課
		71	相互応援協定の推進	防災・水道・廃棄物等	0件	0件	0件			災害実績なし	災害時には他自治体等と連携を図り対応を行う。	—	—	危機管理課
	官民連携	72	災害時応援協定の推進	物資、資機材、技術等の支援に関する協定 物資、資機材、技術等の支援に関する協定を推進する(3協定×5年間=15協定増)	1件	9件	3件			・災害時の避難所等における外部給電可能な車両からの電力供給の協力に関する協定(各トヨタ販売店等) ・物資の供給に関する協定(仙代テック) ・防災・スマートシティ推進に関する協定(JX通信社)	今後も積極的に協定締結を推進する。	87%	B	危機管理課
7%					67%	87%								